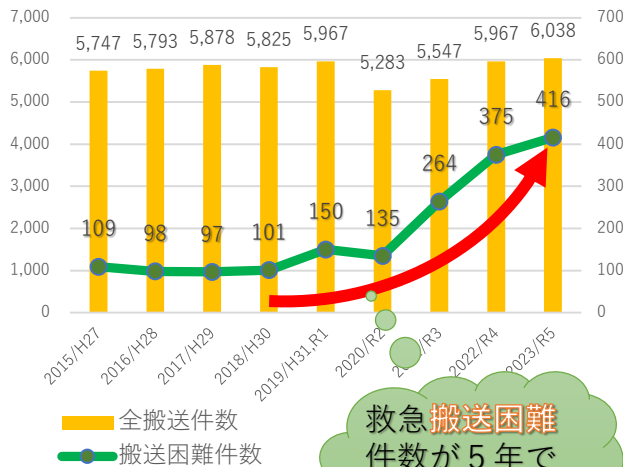


救急医療体制について（津山・英田圏域地域医療構想調整会議）

圏域の課題

救急搬送

津山圏域消防の全救急搬送と救急搬送困難（件数）



救急搬送困難
件数が5年で
4倍に急増

救急医療機関

○三次救急医療機関（津山中央病院）

初期・二次・三次救急の役割を
すべて担っている。

- ・救急搬送患者の集中。
- ・空床確保できず、新たな重篤患者の
受入が困難。

○二次救急医療機関

- ・準夜帯・夜間(内科)の受入は津山
中央病院のみ。

取組①

救急医療体制の整備

- 平日準夜帯の二次救急輪番制
の試行的導入
(内科・R6.12～R7.1)



取組② 意識啓発

- ◆ 住民
「かかりつけ医」を持つ
「119番通報」の適切な利用
- ◆ 高齢者施設
異変の早期発見・対応



啓発動画

(CATV・YouTube等)
(地元高校生の協力)



- リーフレット（市町村広報誌への折込等）
- ポスター（高齢者施設へ配布）
- 啓発資材（ウェットティッシュ）



出前講座

(救急現場の医師等の協力)